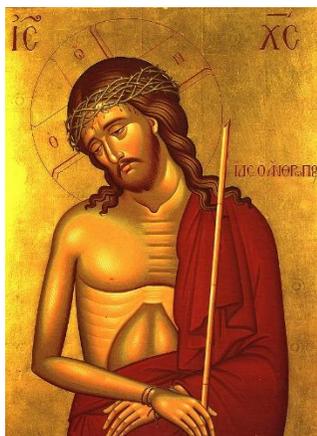


大斎



～パスハへの旅～

道央宣教セミ・ブロック機関紙

(札幌・小樽・苫小牧)

会報

2025年3・4月号

No.415



苫小牧ハリストス正教会

札幌ハリストス正教会 発行

発行責任者 司祭 エフレム後藤悠太

〒062-0042 札幌市豊平区福住2条2丁目3番1号

TEL:011-852-5644 FAX:011-856-0818

郵便振替 02790-8-4469

<http://www.orthodox-jp.com/sapporo/>

E-mail haris-sp@bz01.plala.or.jp

小樽教会 神現祭





小樽教会において1月18日(土)に神現祭の徹夜祈、19日(日)に聖体礼儀が行われました。日曜日に重なったこともあり、聖体礼儀には25名以上の方がいらっしゃいました。札幌教会や小樽教会の信徒の方もいらっしゃり、また日本人だけ

ではなく外国人の方も、またお子さんを連れた方もいらっしゃいました。多くの方と共に主の洗礼をお祝いでき、喜びに満ちた聖体礼儀となりました。

聖体礼儀の最後には大聖水式が行われました。イエスがイオルダン河に入りこの世全体が聖なるものとされたように、聖堂から人々までくまなく聖水がまかれました。この世界を「はなはだ良い」ものとして、またやがてこの世の終わりに必ず(!)到来する「神の国」として味わう体験となりました。

札幌教会 降誕祭



12月22日(日)、札幌教会で繰り上げをして降誕祭の聖体礼儀を行いました。

聖体礼儀の後、信徒会館2階で祝賀会を行いました。痛悔について、子供向けの紙芝居を読んだり(痛悔のためのチェックリストは子供向けながら、大人

こそ読むべき内容でした!)、横尾姉が子供向けの教材をもってこられ、「このパンツだれのもの?」と動物の一部のイラストを見て、どんな動物のパンツかを皆で考えたりしました。最後はBling-Bang-Bang-Bornという曲に合わせて踊り、閉会いたしました。

今年も祝賀会に差し入れをくださった方がいらっしゃいました。有り難うございました。



迎接祭、蕩子の主日



2月15日(土)、迎接祭の聖体礼儀が札幌教会聖堂にて行われました。土曜日の祈祷ではありましたが、20名以上の方が参拝され、シメオンが幼

子イイススを抱いたことを共にお祝いすることができました。神父はシメオンが生神女に言った「あなた自身もつるぎで胸を刺し貫かれるでしょう」という言葉を取り上げ、クリスチャンの生き方とは、マリヤが十字架のもとでイイススの苦しみを苦しんだように、十字架の道を歩むことである、と説教しました。

また2月16日(日)には、蕩子の主日の聖体礼儀が小樽教会で行われました。福音は放蕩息子のたとえが読まれました。悔い改めた放蕩息子、その放蕩息子を寛大に赦した父、またそのことに嫉妬し、赦すことができない放蕩息子の兄が対照的に描き出されます。「私たちもこの兄のように、杓子定規に教会の規定を守るだけで、愛のないクリスチャンとなっていないだろうか」と神父の説教がありました。

札幌、小樽の奉事とも、京都教会からいらっしゃったマカリイ伊藤兄、大阪教会からいらっしゃったコンスタンティン植田兄が堂役の奉仕をしてくださいました。共に祈り、喜びを共にできたことに感謝します。



婦人会だより

今年の復活祭は4月20日になります。卵染めは昨年と同じようにご祈祷があるため、4月17日木曜日の午後1時から4時に行います。卵染めを中心に、聖堂のお掃除も出来ればと思っています。ご多忙と思いますが、ご奉仕よろしくお願い致します。

紅卵の申し込みは、4月6日までをお願いします。復活祭深夜の祈祷もしくは20日(日曜日)午後3時から晩課(愛の晩課)に来られる方に限定させていただきます。電話でも受け付けております。よろしくお願い致します。

イオシフ増田一美兄 永眠

1月20日(月)、イオシフ増田一美兄が永眠されました。91歳でした。施設に入られておりましたが、最近では誤嚥性肺炎などで入退院を繰り返しておられました。長年にわたり札幌教会でレーゲントをされ、聖歌を通して神様に奉仕されておりました。聖歌の楽譜の整理にも力を入れておりました。私自身もイオシフ兄から聖歌について多く教わりました。ある年の聖歌研修会の帰りがけ、JRの中で聖歌について話す機会がありました。どちらかと言うと、普段は口数の少ない方でしたが、聖歌について色々お話ししてくださいました。そんな折、ふと「この話を周りの人が聞いてもさっぱり何のことか分からないだろうね」と笑っておられたことを思い出します。



2011年の復活祭の様子

ステファン山内裕兄 永眠

1月22日(水)、ステファン山内裕兄(87歳)が永眠されました。ステファン兄は転倒をして腰を悪くしてしまってから、施設で寝たきりの生活をされておりました。札幌ハリストス正教会の聖堂にて26日(日)に通夜パニヒダ、27日(月)に埋葬式が執り行われました。

マリナ吉村幸子姉 永眠

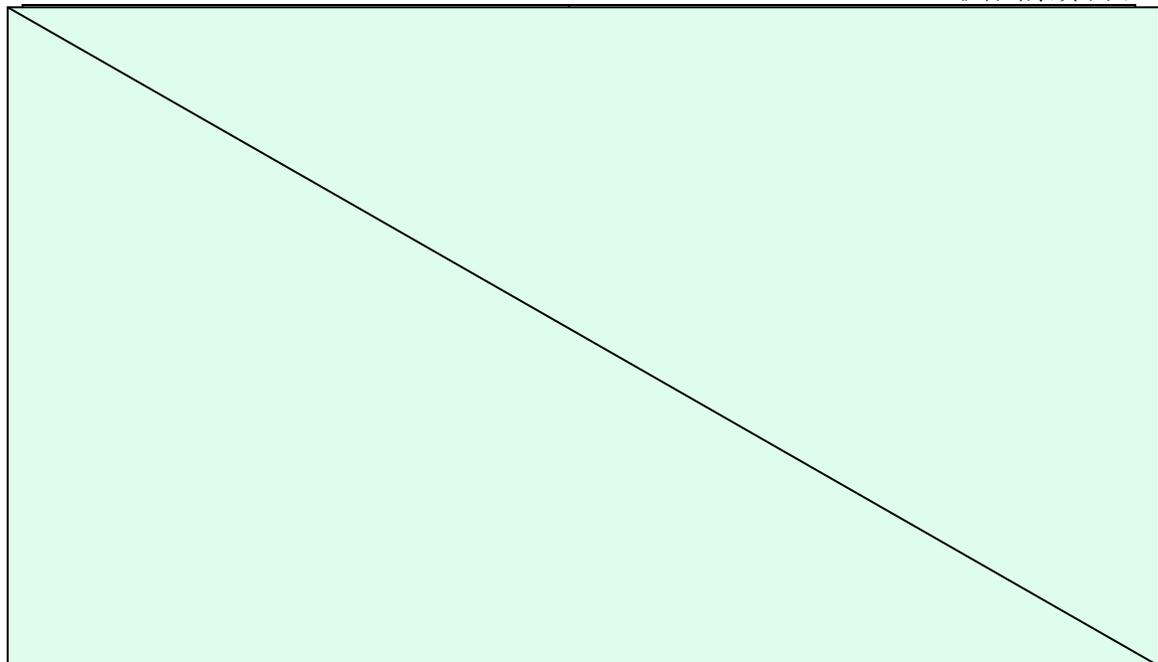
12月24日(火)、函館教会のエカテリナ兄玉マトシカのお母様であるマリナ吉村幸子姉(81歳)が永眠されました。長い闘病生活の中、心も暗くなった時があったが、晩年になるにつれ、ほがらかな心になってきたとご長男がお話されておりました。ベルコ長沼にて26日(木)に通夜パニヒダ、27日(金)に埋葬式が行われました。

アウディ高村紀行兄 永眠

12月28日(土)、アウディ高村紀行兄(78歳)が永眠されました。今年も降誕祭に来ることを楽しみにしていたそうですが、容態が急変して残念ながら来ることができず、気落ちされていたということです。ウィズハウス北郷にて31日(火)に埋葬式が行われました。

ソフィヤ山田明子姉 永眠

2月17日(月)夜に、ソフィヤ山田明子姉が永眠されました。19日(水)に通夜パニヒダ、20日(木)に埋葬式が札幌教会聖堂にて行われました。98歳でした。



聖傳機密 Holy Unction Елеосвящение(соборование)

「あなたがたの中に、病んでいる者があるか。その人は、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を注いで祈ってもらおうがよい。信仰による祈りは、病んでいる人を救い、そして、主はその人を立ちあがらせて下さる。かつ、その人が罪を犯していたなら、それもゆるされる」(イアコフ 5:14, 15)

これから復活祭を迎えます。その前にぜひ聖傳機密を受けてはどうでしょうか。札幌教会の聖堂で、3月29日(土)午後3時より行う予定です。かなり長時間にわたる祈禱ではありますが、体の癒しはもちろん、魂の癒しをも主から受けられるよう求め、来るべき復活大祭に備えましょう！



小樽教会 光明週間Светлая седмица の聖体礼儀

復活祭後の1週間は光明週間と呼ばれています。王門は開かれたまま、復活祭当日とほぼ同じ聖体礼儀が繰り返されます。古代からそうしてきたように、正教会の復活祭の喜びは1日で終わりではなく、続いていきます。小樽教会でも光明週間の聖体礼儀を行いますので、ぜひいらっしゃってください！